

大学院博士後期課程在学生の

21世紀体育学最先端研究支援プロジェクト

(令和元年度)

本プロジェクトの目的

- 本学における体育学研究科博士後期課程(以下、博士課程)は、「体育学の科学的側面を独創的かつ客観的な手法によって探求する過程で得られた研究成果によって、広く国民全ての健康福祉に貢献する専門的指導者、研究者の育成」を目的としている。
- この目的達成のために、最先端かつ高水準の研究活動を行い、その成果の社会還元を積極的に奨励・推進することにより、国内外で活躍できる指導者、研究者の育成を行う必要がある。
- 具体的には、①体育学に関連する最先端の研究を行うこと、②その研究成果を公表し社会に還元すること、③学位を取得すること、の3つの責務がある。
- ①～③の活動を財政面で支援することを本プロジェクトの目的とする。

学術論文・学会発表数(筆頭著者のみ)

学術論文	発表数	割合
外国雑誌	1	4.0%
和雑誌	24	96.0%
合計	25	100%

学会発表	発表数	割合
国際学会	3	9.1%
国内学会	30	90.9%
合計	33	100%

令和元年度プロジェクト経費の配分

- 予算総額: **3,630千円**
- 令和元年度は計**28名**の学生が在籍している。予算総額3,630千円については、博士課程学生1名当たり**110,000円**を各指導教員に配分した(ただし1年間休学した学生の方は配分せず)。
- 配分経費は指導教員の管理のもと、各学生の研究・教育への支援経費とし、会計処理は各指導教員によって行われた。

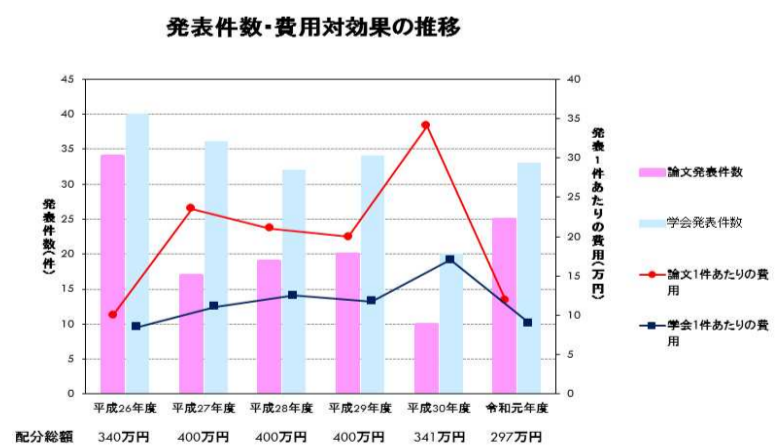
効果

- 筆頭著者としての発表件数: 論文発表 25件
学会発表 33件
- 費用対効果は以下のとおり
(費用対効果 = 予算配分総額2,970千円 / 発表件数)
①論文発表(筆頭著者のみ)・・・11.9万円/1件
②学会発表(筆頭著者のみ)・・・9.0万円/1件
- 学会発表のための旅費支出は、1,165,513円(全旅費の89.4%)

本プロジェクト経費に基づく活動の状況

- 論文指導研究会:
東京サテライトキャンパス、鹿児島大学とのテレビ会議システムも利用して、10月30日、31日、11月1日の3日間に分けて開催された。1～3年生(休学中の学生を除く)が研究計画、研究進捗状況について20分の持ち時間で発表し、討論が行われた。
- 研究成果の公表:
論文発表25件、学会発表33件が公表された(筆頭著者のみ)。
- 学位の取得:
1名が課程博士として学位論文を提出し、学位論文審査会において最終審査が行われ、博士(体育スポーツ学)の学位を取得した。

費用対効果の推移



予算の執行状況

- 総予算額: 3,630,000円
- 総配分額: 2,970,000円(5名分は休学等のため未配分)
- 総執行額: 2,413,624円
- 執行率: 81.3%

	旅費	消耗品費	役員費	印刷製本費	謝金	備品	その他	合計
合計(円)	1,304,403	752,037	14,322	14,256	190,000	0	138,606	2,413,624
割合(%)	54.0%	31.2%	0.6%	0.6%	7.9%	0.0%	5.7%	100%

- 学会発表のための旅費: **1,165,513円(48.3%)**
- 学会参加費・年会費: **138,606円(5.7%)**
- 英文校正: **14,322円(0.6%)**